ファクトシート　ナイジェリア

ギニア湾における海賊対策・対応のための地域・国家能力向上プロジェクト

From the People of Japan

国名：ナイジェリア

プロジェクト名：ギニア湾における海賊対策・対応のための地域・国家能力向上プロジェクト

実施期間：2022 年 3 月～2023 年 3 月

パートナーシップ：日本大使館、予算・国家計画省、マーティン・ルーサー・アグワイ国際リーダーシップおよび平和維持センター、ギニア湾（GoG）諸国の国防省、海軍および治安機関、ナイジェリア海事安全庁（NIMASA）、ナイジェリア海事アカデミー、ナイジェリア海事大学

予算：38 万米ドル

開発課題

ギニア湾、とりわけナイジェリア海域での海賊行為や海上犯罪は、政府や民間の投資に大きな損害を与えるとともに、国際貿易やビジネスに支障をもたらしています。この地域における海賊や犯罪の発生率は、ここ数年で憂慮すべき水準に達しています。2020 年には、世界で記録された 28 件の海上誘拐事件のうち 27 件が GoG で発生する一方、この地域で誘拐の脅威にさらされた船員が 623 人だったのに対し、同じ報告期間内に別の地域で同様の脅威にさらされた船員は 8 人だったと報告されました。

頻発する攻撃や暴力は、海軍の作戦能力や各国の全般的な経済的健全性だけでなく、地域の沿岸コミュニティに損害を与え続けています。さらに、外国からの投資を抑制し、沿岸・沖合地域の国家管理を弱め、ブルーエコノミーの発展を遅らせ、違法取引や違法漁業を助長しています。

ナイジェリアは、平和維持支援活動において常に目覚ましい実績を上げているにもかかわらず、GoG で増え続ける海上犯罪は阻止できていません。このことが GoG を船員にとって最も危険な海域にしており、国境を接する国々の発展を著しく妨げています。そのため、GoG 地域の主要機関が違法な海上活動の根本的原因を掘り下げ、人的能力を含む適切な計画と戦略を策定し、海賊対策に関する定期的な訓練を組織する能力を構築することが急務となっています。

目的

このプロジェクトの主な目的は、海賊の脅威や、GoG 地域における海賊活動を抑制するための対策に関し、主要機関の海賊対策の知識や専門性、能力を深め、それによって GoG 諸国の経済を後押しし、船員にとって平和なビジネス環境を確保することです。

プロジェクトの成果

成果 1：GoG 地域の政府および主要機関の、海賊の脅威や軽減対策に関する知識や認識を深めること

SDGs への貢献

このプロジェクトは、SDGs の目標 1、16 および 17 に貢献します。